

近畿支部

活動報告（7月～9月）

〔大阪地区〕

1. 近畿支部平成29年度通常総会

開催日時：8月29日（火） 14時30分～

開催場所：近畿運輸局海技試験室 「大阪合同庁舎4号館」

参加者： 48名

2. 第50回船員災害防止大阪大会及び記念講演会（共催）

開催日時：8月29日（火） 15時15分～

開催場所：近畿運輸局海技試験室 「大阪合同庁舎4号館」

参加者： 77名

3. 月間訪船指導

期 日：9月1日（金）～9月〇日（〇）の〇日間

場 所：大阪港及び堺泉北港

4. 普通救命講習会（AED操作訓練含む）

開催日時：9月11日（月）～12日（火）の2日間 13時30分～

開催場所：大阪市水上消防署 講堂

参加者： 53名

5. 無料健康相談

9月の月間中、大阪掖済会病院及び大阪みなと中央病院のご協力により
無料健康相談・栄養相談を実施。

〔京都地区〕

1. 京都地区支部 生存対策講習会

開催日時：平成29年7月19日（水） 13時00分～

開催場所：京都府宮津市字上司 「京都府立海洋高等学校」

座学：京都府立海洋高等学校 視聴覚室（3F）

実技： " 専用岸壁

対象者：京都地区支部会員の船員、船舶所有者、海事・漁業者及び
海洋高等学校

参加者： 96名

2. 小型漁船安全講習会

開催日時：8月8日（火） 14時00分～

開催場所：京都府漁業協同組合 湊支所 会議室（舞鶴市）

参加者：18名

3. 第50回船員災害防止大会（京都地区大会）及び記念講演会

開催日時：8月22日（火） 13時30分～

開催場所：舞鶴21ビル会議室（舞鶴市）

参加者：52名

4. 月間訪船指導

期 日：8月23（水）、24日（木）、9月1日以降随時

場 所：舞鶴港、宮津港、栗田港、浅茂川漁港、舞鶴漁港、
京丹後市間人漁港

〔和歌山地区〕

1. 和歌山地区支部第1回運営委員会及び船員労働安全衛生月間打合せ

① 開催日時：8月2日（水） 10時30分～

① 開催場所：和歌山運輸支局会議室（和歌山市）

② 参加者：18名

2. 月間訪船指導

① 期 間：9月1日以降

③ 場 所：和歌山本港・和歌山北港・下津港・田辺港・白浜港

3. 和歌山地区50回船員災害防止大会及び記念講演会

① 開催日時：9月5日（火） 13時00分～

② 開催場所：和歌山港湾労働者福祉センター（和歌山市）

③ 参加者：49名

〔勝浦地区〕

1. 勝浦地区支部第1回運営委員会（第50回通常総会）

① 開催日時：8月30日（木） 11時30分～

② 開催場所：「勝浦海事事務所会議室」（那智勝浦町）

③ 参加者：6名

2. 月間訪船指導

- ① 期 間：9月1日以降隨時
- ② 場 所：新宮港・勝浦港・串本港

小型漁船安全講習会

船員災害防止協会 近畿支部 京都地区支部

1. 実施日時

平成29年8月8日（火）

13:30～

2. 実施場所

京都府漁業協同組合 丹後支所 会議室（京都府京丹後市丹後町）

3. 参加人数

13名

4. 講義

「京都府下の海難の現況と防止について」

舞鶴海上保安部 地域海難防止対策官 朝倉 周一

「海難事故の発生と法的責任について」

日本漁船保険組合 京都府支所 支所長 福井 雅之

「緊急時の救命処置について」

峰山消防署 竹野川分遣所 救急救命士 藤原 翔太

5. 概要

本講習会は、毎年、京都府漁業協同組合の各支所を順番に回って開催しており、今回は丹後支所での開催となりました。底びき網漁船に乗船する船員を対象に行い、13名の参加を得て開催することができました。



船員生存対策講習会（サバイバル・トレーニング）（京都地区）

平成29年7月19日（水）、京都府立海洋高等学校（京都府宮津市）において、同校の生徒やフェリー、官公署船等の乗組員など総勢96名の参加を得て、船員生存対策講習会を開催しました。

座学講習は同校の視聴覚室において、京都地区支部小倉支部長（丹後海陸交通(株)社長）の主催者挨拶、京都運輸支局 松岡次長の来賓挨拶のあと、船員災害防止協会 長谷川安全管理士から「遭難時、生き抜くための心得」と題した講義を受け、その後、ビデオ映画「漂流から生還へ」を視聴しました。



実技講習は、同校の専用棧橋において、船員災害防止協会 関根技術講師からイマーシヨンスーツの装着方法、膨脹式救命いかだの仕組みや架台の方式について説明がありました。

続いて、架台から膨脹式救命いかだを海中に投下し、展張させたあと、イマーシヨンスーツを装着した2名の生徒と補助者2名の生徒に海中に飛び込んでもらい、救命いかだに乗り込む訓練を行いました。

その後、展張した救命いかだを棧橋に引き揚げ、外観や内部構造、救命信号類、救難食料・飲料水、応急医療具・医薬品、生存指導書等搭載されている艀装品目の説明がありました。



最後に、救難信号類の取り扱い訓練として、落下傘付信号の打ち上げ、信号紅煙の発煙訓練、海面着色剤の投下訓練を行いました。

開催に際してご協力いただきました京都府立海洋高等学校及び関係者の皆様にお礼申し上げます。

船員労働安全衛生月間における訪船指導（大阪地区）

9月1日及び4～6日の4日間を集中的に、関係各所のご協力の下に訪船指導を行いました。

当地区では昨年度まで民間訪船指導員とともに近畿運輸局職員（運航労務監理官等）による官民混合の指導班を4班編制し訪船指導を行っていましたが、今年度より運航労務監理官を主体とした訪船指導班（一部民間訪船指導員混合）と従来からご協力頂いている民間訪船指導員の自社（オペ）船への訪船指導という形式に変更し実施することとなりました。



運航労務監理官主体班は、各日2～3班を編制し近畿運輸局所有の交通艇を用いて大阪港及び堺泉北港に停泊する内航船への訪船指導を、民間訪船指導員の方には大阪地区へ寄港する自社（オペ）船への訪船指導をお願いし、快く引き受けて頂きました。

皆さんの精力的な訪船活動により当初目標を上回る訪船実績となりましたことに感謝を申し上げますとともに、今年度も事故なく無事に訪船指導活動を終えることが出来た事に関係者一同安心しています。



改めて関係各所の皆様にはご多忙の中、訪船指導活動にご理解とご協力を頂きましたことにこの場を借りてお礼申し上げます。